平成29年度　高松市施策評価表（28年度分）

総合計画体系		
まちづくりの目標		安全で安心して暮らし続けられるまち
	政 策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
	施 策	廃棄物の適正処理

総合評価
A

評価担当	
局名	環境局
課・室名	環境指導課
電話番号	839-2380

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）

一般廃棄物（し尿を含む）を排出する市民及び市内の事業者並びに産業廃棄物を排出する事業者や廃棄物の収集運搬・処分を行う者等。

意図（どのような状態にしたいのか）

一般廃棄物及び産業廃棄物の排出を抑制し、適正かつ効率的な処理を推進するとともに、将来に向けた安定した処理体制を構築することにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上を図り、循環型社会の形成に寄与する。

2 施策の成果状況

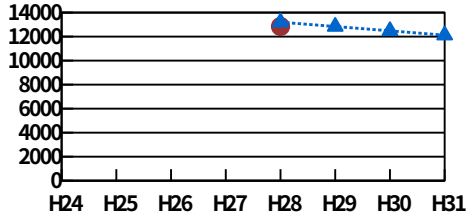
成果指標①

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
一般廃棄物の年間埋立処分量	t				12,844	12,120	11,270	

成果状況／達成度評価

家庭ごみの適正処理について、ホームページや広報誌等により周知・啓発に努めたほか、西部クリーンセンターの基幹的設備改良工事に伴い、ガス化溶融炉である南部クリーンセンターでの可燃ごみの処理量の割合が増加し、焼却灰が減少したことなどにより、市有施設での年間埋立処分量が前年度よりも減少した。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）102.7%

30点

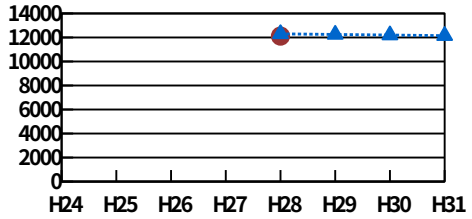
成果指標②

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき
産業廃棄物の不適正保管量	t				12,116	12,150	12,000	

成果状況／達成度評価

継続的・定期的な指導を行ったことにより、前年度と比較し、不適正保管量が減少し、目標値を達成した。

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）101.5%

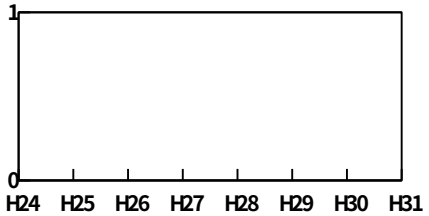
30点

成果指標③

指標名	単位		実績値 26年度	実績値 27年度	実績値 28年度	中期目標 30年度	長期目標 35年度	指標のうごき

成果状況／達成度評価

成果状況の推移



目標達成度

（達成度）

3 市民満足度調査の状況

	26年度	27年度	28年度	うごき
満足度	位　（　　%）	位　（　　%）	12位　（ 31.6%）	
不満度	位　（　　%）	位　（　　%）	49位　（ 11.4%）	
重要度	位　（　　%）	位　（　　%）	29位　（ 65.5%）	

4 施策に係るコスト

	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）
事業費	3,800,598	4,555,834	5,061,044	7,025,929
人件費	1,445,938	1,451,793	1,552,928	686,963
トータルコスト	5,246,536	6,007,627	6,613,972	7,712,892

5 今後の方向性と課題

施策の推進状況と課題

ごみの適正処理を確保した上で、より経済的で効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。・西部クリーンセンター等施設の老朽化に伴い、適切な維持管理と効率的な運転管理で施設の延命化を図る必要がある。・し尿等の処理については、平成２８年度に下水道との共同処理の試運転を行ったが、引き続き、適正に処理を行う必要がある。・排出事業者の責任や収集運搬・処分を行う者の責務について、更に理解を深めてもらい、適正処理を推進していく必要がある。

施策推進の方向性

一般廃棄物の発生抑制、適正処理、資源化を推進し、ごみ処理施設の適切な維持管理を図ると共に、市の収集運搬体制の検討にも取り組み、公衆衛生の向上及び循環型社会の形成に貢献していく。・し尿等の処理については、下水道との共同処理を安定的かつ適正に推進していく。・大規模災害時における災害廃棄物処理計画の策定に伴い、収
集、分別、再生等の適正な処分など必要な見直しを継続していく。・産業廃棄物については、排出事業者や許可業者等に指導や啓発活動により、排出抑制や適正処理及び再生利用の推進を図る。

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価）	
産業廃棄物適正処理の促進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		（評価対象外）産業廃棄物適正処理指導事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） B	
し尿の適正処理の推進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		災害時し尿処理事業	97%	A	継続	簡易トイレ備蓄率	100.0%
						し尿凝固剤備蓄率	100.0%
○		し尿中継貯留槽整備事業	60%	C	継続	し尿中継貯留槽整備率	53.1%
○		し尿処理施設跡地利用事業	86%	A	継続	解体・跡地整備進捗率	91.2%
		（評価対象外）衛生処理センター環境整備事業					
		（評価対象外）衛生処理センター中継所運営事業					
		（評価対象外）離島し尿収集事業					
		（評価対象外）衛生処理センター運営事業					
		（評価対象外）し尿中継貯留槽管理事業					

6 施策を構成する基本事業及び事務事業の状況

基本事業名						（総合評価） A	
ごみの適正処理の推進							
重	マニ	事務事業名	得点率	総合評価	方向性	成果指標	達成度
		（評価対象外）ごみ処理計画推進事業					
		ごみ適正処理指導事業	92%	A	継続	不適正管理ごみステーション対応件数	98.6%
		（評価対象外）ごみ収集運搬事業					
		（評価対象外）ごみ処理関連施設統廃合整備事業					
		（評価対象外）ごみ最終処分場管理事業					
		（評価対象外）南部クリーンセンター管理運営事業					
		（評価対象外）南部クリーンセンター場内整備事業					
		（評価対象外）西部クリーンセンター管理運営事業（焼却処理）					
		（評価対象外）一般廃棄物最終処分場整備事業					
		（評価対象外）西部クリーンセンター管理運営事業（破砕処理）					
○	○	西部クリーンセンター大規模改修事業	100%	A	継続	西部クリーンセンター大規模改修整備進捗率	100.0%
○		南部クリーンセンター次期運営方法等検討事業	76%	B	継続	次期運営方法等検討事業の進捗率	75.0%